令和7年度　舞鶴市指定管理者選定委員会

日　　時	令和7年11月12日（水）　13：10　～　16：30
場　　所	舞鶴市役所中会議室（別館5階）
出　席　者 （50音順）	足立清治（社会保険労務士） 上野和美（NPO法人役員） 川端隆一（公認会計士） 嶋田知子（舞鶴工業高等専門学校特命准教授） 杉岡秀紀（福知山公立大学准教授） 中嶋小夜子（商工会議所女性会副会長） 山田忠雄（税理士）
傍　聴　者	5人
内　　容	舞鶴市西市民プラザの指定管理者候補者の選定
施　設　名	舞鶴市西市民プラザ
応募団体	まちサポ・マナイ共同事業体 一般財団法人有本積善社

《議事録》

施設所管課による施設概要説明及び応募団体によるプレゼン後、公開で行われたプレゼンや応募資料に対する質疑の概要です。

●施設所管課からの施設概要について

【委員】	直営期間（令和6年度）の年間利用者数は何人でしたか。
【市民協働推進課】	令和6年度は6万2,000人弱でした。当初の10万人という厳しい設定から、コロナ前の平均に5年間かけて上げてほしいという思いで8万人以上を目標設定しています。
【委員】	施設の前面スペースに夜間違法駐車が多いです。軽自動車なら5台分ほど駐車スペースがあるように見えますが、前面を駐車場として利用する考えはありますか。

【市民協働推進課】	マナイ通りは公道のため駐車スペースとするのは難しいです。また、他の場所にも施設の駐車場を設けるのは物理的に難しいと考えています。設立当初から車で施設に来館するのではなく、周辺の駐車場に停め、商店街を通って来館することで地域の活性化につなげるというコンセプトがあるります。これらの点も踏まえ、指定管理者には創意工夫して事業につなげていただきたいと考えています。
【委員】	今回示された5つの運営方針は、以前のものと比べてプラスアルファやニュアンスの変化はあるのでしょうか。
【市民協働推進課】	基本コンセプトである「多様な主体の交流を促進する拠点施設」は変わっていません。意見交換会を経て、情報発信 や、交流した仲間の中で気持ちを分かち合う といった手法が新しく入ってきています。
【委員】	募集要項の「指定管理者が行う主な業務」を見ると、目標達成（成果目標）よりも事務管理が目立ってしまうため、成果目標を「主な業務」に入れた方が良いのではありませんか。
【市民協働推進課】	管理の基準のところが大前提ですが、目標設定や自主事業の要素も項目立てて行っています。目標達成が分かりにくいという点については、今後の宿題としたいと考えています。
【委員】	募集要項の「その他管理運営上市長が必要と認める業務」に対応する仕様書上の具体的な箇所はどこでしょうか。自主事業などはこれに含まれると理解して良いですか。
【市民協働推進課】	仕様書に書かれていること全てがこれに該当しますが、これ以外に必要なことが出てきた場合に対応するものとして書いています。自主事業なども含まれます。

⚫まちサポ・マナイ共同事業体の議事録

【委員】	応募申請書に舞鶴市が示す5つの運営方針への直接的な言及がなかったが、これらをどう受け止めていますか。
【まちサポ・マナイ共同事業体】	応募書類作成時に市の運営方針を理解する中で作成したはずであり、提案の基本方針（体制、企画運営、広報・情報発信、環境整備、スタッフ体制）に大体まとまっていると思っています。
【委員】	5年間（令和8年度～令和12年度）の収支予算で、事業収入・その

	他収入・指定管理料が全く同額で組まれています。経営努力で指定管理者のプラスになる部分が感じられないのですが考え方の説明をいただけますか。
【まちサポ・マナイ共同事業体】	物価高騰等で経費の増加が見込まれますが、NPO法人が主で、利益のところはなるべく割愛するという考えです 。他の収益関係より安く済むことが、提案の魅力のポイントだと考えています 。
【委員】	人件費も5年間同額で廉価に組まれています。これは昇給がないということでしょうか。職員の士気や職場環境に影響しませんか。
【まちサポ・マナイ共同事業体】	職員は当然昇給させます 。市の指定管理料の積算根拠には市職員2名分相当の人件費(※)が含まれているため、人件費全体の金額が大きくなっており廉価に組まれたようにみえますが、従業員は最低賃金プラスアルファで上げる予定です。 ※市の見解 ✕ 市職員2名分相当の人件費 ◯ 会計年度任用職員(ガイドライン)の人件費
【委員】	高校生のアルバイト採用は良いが、役員に若い方がいない。共同事業体として若い方の意見をどう取り入れますか。
【まちサポ・マナイ共同事業体】	近年は世代交代が停滞していたが、NPO法人として融通がきく組織性を活かし、若いスタッフ、特にホームページができる方などを勧誘したいと考えています 。高校生を運営に積極的に関わらせ、意見集約・意見交換の機会を創出したいです 。
【委員】	提携するマナイ商店街駐車場の料金は、プラザ利用者にはどうなるのですか。
【まちサポ・マナイ共同事業体】	今後は利用頻度を考慮し、機械の設定変更で3時間まで200円や5時間まで200円などの対応ができます。現状としては市営駐車場の利用と同等の形で検討します。最初の1時間は無料を考えています 。
【委員】	マナイ商店街との共同体というのはNPO法人としての合併には当たらないのですか。今回の提案に際してどのような意見がありましたか。
【まちサポ・マナイ共同事業体】	合併まではしません。皆さんからは駐車場問題が解決できるのはよいこと、前向きな意見が多かったです。
【委員】	駐車場からプラザへのアクセスとなるマナイ商店街のアーケード（シャッター街）が暗く、若いママなどが歩きにくいので、何とかしていただけますか。

【まちサポ・マナイ共同事業体】	プラザが元気になれば商店街も元気になるという考えで、プラザを核にしたいと考えております。地域を大事にしたいという思いで、アーケードも高齢者が歩けるように明るくしたいですし、利用客をどんどん増やしたいです。
【委員】	高校生を受付で採用ということですが、オリエンテーション等はきめ細やかな対応が必要ではないですか。
【まちサポ・マナイ共同事業体】	必要があれば増やしたいと考えています。また役員等が一緒にいる体制をとりたいと考えています。
【委員】	初年度から年間利用者数8万人を達成する計画ですが、具体的なプランを聞かせていただけますか。
【まちサポ・マナイ共同事業体】	現在の6万人はプラザ単体での利用者数だと思います。ジョイントベンチャーとしてマナイ商店街の大きなイベントを一緒に行うことで、そこからの呼び込みや、休憩や交流ができるような場所を作ることで人数は増えるであろうと考えています。
【委員】	初年度から8万人達成は高い目標です。貸館業務も利用者を増やさないといけないと思いますが、具体的な内容を聞かせてください。
【まちサポ・マナイ共同事業体】	高い目標設定ではありますが、駐車場がポイントで、利用者は増えると確信しています。
【委員】	単価が高い部屋の利用率が低いですが、これを伸ばす方策はありますか。
【まちサポ・マナイ共同事業体】	例えば利用の少ない料理室について、1/4しか使わなければ1/4の値段とするなど、柔軟な貸し出し方を提案したいと考えています。
【委員】	「こういうことをやりたい」という熱い思いや独自色をもっと見せてほしいです。また、高校生を採用するなら、経営者の視点や社会で通用するスキルを教育し、若者を世に送り出すという教育的な責任感を持って取り組んでほしいです。
【まちサポ・マナイ共同事業体】	NPO法人の設立当初は「事業はあまり行わず、市民活動の『中間支援』」というスタンスで運営していましたが、その後市から「事業実施」を求められるようになったものの、組織の高齢化もあり、その変化に即座に対応できませんでした。指定管理が外れて一時活動が停滞していましたが、今回の共同事業体として、もう一度しっかりと取り組みたいと思っています。また、優秀な生徒が多いことは認識しており、今後は単に場所を開放するだけでなく、「運営や企画」側のスタッフとして積極的に巻き込み、育成していきたいと考えています。

【委員】	NPO法人のホームページで令和5年度、6年度の事業報告書や会計報告があがっていません。これは法的なルールとして提出すべきです。
【まちサポ・マナイ共同事業体】	承知いたしました。

一般財団法人有本積善社の議事録

【委員】	市民活動支援のため、新たに「コーディネーター」の配置を提案していますが、具体的な人選や教育の計画はありますか。
【有本積善社】	現状はコーディネーターはいませんが、市民活動の活性化には必須です。京都でNPO法人の中間支援実績がある「NPO法人きょうとNPOセンター」と連携し、そのノウハウを学び、舞鶴で人材を育成していくところからスタートします。
【委員】	駐車場問題について、指定管理受託にあたってさらに工夫されることはありますか。
【有本積善社】	民間では難しい部分もありますが、周りの駐車場をうまく使ってもらうPR活動をします。事業が安定すれば、民間の駐車場を借り上げることも検討します。利用者側が工夫すれば駐車場問題は理由にはならないと考えています。
【委員】	年間利用者数10万人、稼働率50%以上という野心的な数字の実現可能性について聞かせてください。
【有本積善社】	集客力のある事業やイベントを行っていくことと、現在20～30%の貸室利用はもっと活用できる可能性があると考えており、50%に上げることは可能だと現場で仕事をしながら感じています。
【委員】	「インキュベーションセンター」は良い提案だと思いますが、具体的にどのような支援を考えているのですか。
【有本積善社】	舞鶴にはまだない、起業家やスタートアップ企業を支援する機能です。施設のハード面の提供は難しくとも、寄り添い型の支援を行い、西市民プラザをやる気のある市民の孵化装置として、将来のまちづくりのリーダーを育成します。
【委員】	情報発信は大切です。FMまいづるの立場が指定管理者になること

	で変わりますか。
【有本積善社】	基本的に変わらないと考えています。並行して事業を行うことは効果的・効率的と考えています。
【委員】	5年間の枠組みで賃金が変わっていませんが、職場環境に影響しませんか。
【有本積善社】	将来的な賃金上昇の動向を見据え、状況に合わせて柔軟に対応するよう考えています。
【委員】	FMまいづるは耳の聞こえない方へはどのように情報を伝えられますか。
【有本積善社】	ビジュアルでの伝達や、ウェブサイト、IT、AIなどを活用し、聴覚障害者の方への専門的な対応を工夫したいと考えています 。
【委員】	常勤職員2名の報酬が、これだけの事業をやる人材として少ない気がします。優秀な人材を確保できるのでしょうか。
【有本積善社】	決して高い金額ではないですが、情熱を持った方に来ていただいて効率よく仕事をしていただく 。単なる施設管理だけでなく自主事業の拡大で新たな収入を生み出し、それが職員の報酬につながるという前向きな環境を作っていきたいです 。
【委員】	監視カメラが設置してありますが、常時見ている人がいません。セキュリティ面の工夫ができませんか。
【有本積善社】	カメラ映像を常時見ているのは難しいと思いますが、センサーの設置等、市と相談したいと思います。
【委員】	舞鶴に足りないものとは何ですか。「未来のまちづくり」に込められた思いを聞かせていただけますか。
【有本積善社】	地方都市には都会との情報格差があると考えています 。インターネットの情報ではなく、西市民プラザのような物理的な場所で、直接体験したり専門家を呼んで交流したりする場を提供し、人づくり（インキュベーションセンター）につなげていくという思いです 。